

電力技術研究会専門部会シリーズ⑥ 環境専門部会

環境専門部会は、公害問題に積極的に取り組むため昭和47年に発足しました。メンバーは環境部の加藤主査のもと、今年から参加頂いた1名を含めた大学関係委員4名と当社関係者です。主なテーマは、地球温暖化問題と循環型社会の構築をめざした廃棄物削減・再資源化に関する技術開発です。

9月19日の第59回部会では、275kV川越西名古屋線建設現場と川越火力発電所を見学した後、現地で専門部会を開催しました。名古屋大学教授の藤澤委員より



社外委員の紹介
最前列左より2人目 藤澤、森の各委員(山口、藤江委員は欠席)

「難処理人工物の再資源化及び無害化処理」と題して、現在名古屋大学難処理人工物研究センター(第1図)で取り組んでいる技術開発状況について、また名古屋大学教授の森委員より「有機廃棄物の再資源化技術の研究開発」についての説明があり、活発な議論が交わされました。環境部門の産学連携を一層強固にすることで、より良い成果が期待されます。









第1図 難処理人工物研究センターとは、人類社会の持続的発展に不可欠なゴールキーピング技術(継続的に造出される難処理人工物に系統的に対応するためのメソドロジーを総合的に把え、環境のゴールを最終的に守るしくみ)を確率するために平成9年4月1日に設置された我国唯一の全く新しい研究教育機関です。
<http://www.rescwe.nagoya-u.ac.jp/index.html>

技術開発本部研究発表会の開催

第92回技術開発本部研究発表会が8月28日に開催されました。今年度2回目となる発表会には技術開発本部内から延べ80名の参加により、活発な意見交換が行われました。アドバイザーとして山本技術開発本部長代理を始め幹部に出席いただき、随所で厳しい指摘を受けました。また人工衛星から撮影した高解像度衛星写真の利用や貝類の養殖等多種多様な研究内容の発表があり、将来の事業化の可能性を秘めたものに質問が集中しました。今年度は後3回の開催を予定しています。

第92回発表会・発表内容・発表者

| | | | |
|-----------------------------------|------------------------|-------|---|
| 実系統における負荷特性の解析 | 電力技術研究所 系統チーム | 田端 康人 |  |
| 海生生物附着防止に関する研究 | エネルギー応用研究所 環境・リサイクルチーム | 青木 雅雄 |  |
| SUS管粒界腐食の劣化管理手法に関する研究 | 電力技術研究所 材料チーム | 樋口 貴司 |  |
| 高解像度衛星写真の業務利用に関する研究 | 電力技術研究所 情報通信チーム | 澤田 誠一 |  |
| 貝類養殖に関する研究 | エネルギー応用研究所 水域生物チーム | 濱田 稔 |  |
| 建替対象コンクリート柱のはく離による変状実態、およびその原因と対策 | 電力技術研究所 構築チーム | 佐藤 正俊 |  |